

いわき市再生資源協業組合 SDGs への取り組み

持続可能な開発目標（SDGs）とは 2015 年 9 月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」にて記載された 2016 年から 2030 年までの国際目標です。

持続可能な世界を実現するための 17 のゴール・ 169 のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない（leave no one behind）ことを誓っています。当組合も世界中の人々が幸せに豊かに暮らす社会の実現を目指し、SDGs の目標達成に向けて貢献してまいります。



1.ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて



ワーク・ライフ・バランスの定義とは、仕事と生活の調和がとれているかどうかということです。具体的には、働く個人が、やりがいをもって働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭生活においても介護や育児などの時間や、自己啓発のための勉強の時間を持つことのように、豊かな社会生活を送ることが可能な労働環境のことを指します。当組合における社内活動の一つ「元氣な職場作りプロジェクト」は、社員一人ひとりの心の声を言葉に表し、共有する活動です。こういったコミュニケーションを重視した活動は、良質な職場環境を造り、仲間の心の豊かさに気づききっかけとなります。また、あらゆる分野において女性がその個性を十分に発揮することは、地域社会を活性化させる大きな力となると考えられることから、女性管理者の登用・育成及び職場における女性活躍や男女共同参画に積極的に取り組み、男女がともに働きやすい職場環境の整備を図るなどの取組を行っています。当組合は「いわき市女性活躍推進企業」として認定されています。

2.エコアクション21の認証を取得



エコアクション21の認証を取得しています。エコアクション21は、環境省が策定した日本独自の環境マネジメントシステム（EMS）です。取組結果は「環境活動レポート」として取りまとめて公表しています。

3.リサイクル教室の開催



一般市民を対象に、不要になった布、毛糸等を使用した【つまみ細工教室】【ニードルフェルト教室】のリサイクル教室を開催しています。つまみ細工は江戸時代から伝わる日本の工芸で、布を正方形に切り取ってから折り畳み、組み合わせによって様々な形をつくる技法です。楽しく分かりやすく伝えることを目的としています。

4. 多様な人材が個々の能力を最大限に発揮できる組合を目指して



組合は社員こそが企業の財産、すなわち「人財」であると考え、社員の成長を積極的にサポートするため、キャリアに応じて充実した教育研修を実施しています。社員の成長を第一に考え、体系的な教育研修を実施することで、「高度な知識・技能、責任感と気概を有し、かつ時代の変化に的確に対応できる柔軟性、創造性のある社員」の育成を目指しています。

5. 講習会や研修会を通じた人材育成



各分野の専門家を外務講師として招き、毎年講習会を開催しています。社員全員に学ぶ機会が与えられ、業務意識の向上を図る取り組みです。

6.いわき市不法投棄監視サポーターとして活動



後を絶たない廃棄物の不法投棄をなくすため、また、地域環境の保全と不法投棄の未然防止をさらに強化していくために、『いわき市不法投棄監視サポーター』に登録しています。

私は、ゴール（ ）を達成
するために・・・

します！